カリキュラム・マップ（4月入学者）

グローバル・リベラルアーツ・プログラム

GLAPの教育目的

『自ら考え、行動し、世界と共に生きる「グローバル・リーダー」』を育成すること。
「グローバル・リーダー」とは、どのような立場や環境にあっても自身の持つ力を最大限に発揮しながら周囲と協働することができ、かつ豊かな感受性と知性を有し、他者を尊重し寄り添う中で、世界の新たなあり方を見据え、自ら考える能力と人間性を備えた人材のことである。

学修成果 （具体的に記述・箇条書き）

「学士（学術）」を授与される学生は、以下のような能力を有する。
1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。（「1. リベラルアーツの素養」、「3. 自己を理解し発展させる力」と関連）
2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。（「2. 専門性」、「3. 自己を理解し発展させる力」と関連）
3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。（「5. 他者を理解する姿勢」、「7. リーダーシップ」、「8. 国際性」と関連）
4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。（「6. 表現力」と関連）
5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。（「1. リベラルアーツの素養」、「3. 自己を理解し発展させる力」と関連）

※（ ）内は「立教大学学士課程教育の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目区分	主要授業科目	配当年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
必修科目									
Tutorial（学びの技法）									
Tutorial 1	必修科目	○	1	テキストの講読、プレゼンテーション、学生同士の討論、授業期間中に複数回提出が求められる課題エッセーの執筆等を通じて、批判的な読解力や分析的な思考力を涵養する。	◎	△		◎	△
Tutorial 2	必修科目	○	1	テキストの講読、プレゼンテーション、学生同士の討論、授業期間中に複数回提出が求められる課題エッセーの執筆等を通じて、批判的な読解力や分析的な思考力をさらに発展させる。	◎	△		◎	△
学びの精神									
Liberal Arts in Higher Education	必修科目	○	1	高等教育の中でリベラルアーツがどのように位置づけられてきたのかを学ぶことで、自身が学ぶリベラルアーツについて理解を深め、その特徴を理解することができる。	◎	△			△
GLP基礎科目									
GL111	必修科目	○	1	少人数のグループに分かれてのディスカッションや課題への取組を通じ、チームが成果を出すために必要なかかわり方や、リーダーシップの発揮方法を身につけることができる。	△		◎	△	
GL202	必修科目	○	2	少人数のグループに分かれてのアクション・ラーニングやコーチングによって簡単かつシンプルな質問力を身につけ、リーダーシップを発揮することができる。	△		◎	△	○
Second Year Seminar									
Second Year Seminar	必修科目	○	2	課題研究に取り組むなかで、Tutorial科目（学びの技法）で培った学びの技術力をさらに伸ばし、思考力を高めることができる。	◎	△		◎	△
Global Studies Essentials									

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目 区分	主要 授業科目	配当 年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
Globalism and Humanities	必修科目	○	2	宗教・思想、言語、芸術・文化、文化人類学、ジェンダー、地域研究について概念的・理論的基礎や資料の収集や利用法を身につけることができる。	△	◎	△		○
Citizenship Education	必修科目	○	2	社会科学（社会学、政治学、人類学など）の主要な分野と理論をグローバルな視点から学ぶことによって 、 現代の社会問題や政治問題を、批判的かつ責任ある市民として理解することができる。	△	◎	△		○
International Business	必修科目	○	2	ビジネスの国際展開について、具体的な事例と理論的な枠組みを広く理解し、多様な視点を身につけることができる。	△	◎	△		○
GLAP Senior Studies									
Final Year Seminar 1	必修科目	○	4	専門3分野（Humanities, Citizenship, Business）の学問的目的、個性、方法を理解し、4年間の学修の総括として、Liberal Arts教育の趣旨をふまえて各専門分野の意義を説明できる。また、専攻する専門分野において作成される卒業論文のテーマを広い視野から適切に定め、執筆の準備、発表を行うことができる。	◎	○		◎	△
Final Year Seminar 2	必修科目	○	4	専門3分野（Humanities, Citizenship, Business）の学問的目的、個性、方法を理解し、4年間の学修の総括として、Liberal Arts教育の趣旨をふまえて各専門分野の意義を説明できる。また、専攻する専門分野において作成される卒業論文のテーマを広い視野から適切に定め、執筆の準備、発表を行うことができる。	◎	○		◎	△
Graduation Paper	必修科目	○	4	4年間の学修の総まとめとして、Liberal Arts教育ならびに各専門科目の個性と意義とを理解し、各自が選択した専門分野において、広い視野と固有な発想にもとづいた卒業論文を計画、執筆、完成することができる。	◎	○		◎	△
選択科目									
英語リベラルアーツ（ELA）科目									
World History	選択科目	○	1～4	グローバルな文脈で見た世界の歴史において、いくつかのトピックを掘り下げて深く学ぶことで、歴史についての多様な視点や思考力を身につけることができる。	△	◎	△		○
Culture and Fine Arts	選択科目	○	1～4	人間が持つ文化の本質的部分としての芸術に関して、いくつかの課題を設定し、検討することで、文化や芸術に対する多様な視点や思考力を身につけることができる。	△	◎	△		○
Political Sociology	選択科目	○	1～4	社会学における国家、社会、市民に関するいくつかの課題に焦点を当てて学ぶことで、政治社会学についての理解を深めることができる。	△	◎	△		○
Nature of the Earth	選択科目	○	1～4	自然科学における地球の科学的調査から導き出される課題について学ぶことで、自然科学についての理解と、多角的な視点を身につけることができる。	△	◎	△		○
Literature and Society	選択科目	○	1～4	様々な文学作品と、その社会的背景に焦点を当てて学ぶことで、文学作品と社会の関係を多角的に考察できるようになる。	△	◎	△		○
Economic Thought	選択科目	○	1～4	思想家、学者、一般市民が経済や経済問題をどのように考えてきたか、また、考えているか、思想的観点から経済を考察することで、経済に関する多様な考え方を身につけることができる。	△	◎	△		○
Health and Wellness	選択科目	○	1～4	2つの健康、人間としての健康と人生における健康について、授業にて紹介される課題について学ぶことで、健康を様々な観点から考える能力を身につけることができる。	△	◎	△		○

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目 区分	主要 授業科目	配当 年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
Topics in Environment	選択科目	○	1～4	地球科学の基礎や化学物質が環境に与える効果などを学ぶことにより、環境問題の背景を理解し生態系や現代の社会、経済に与える大きな影響について幅広く考えることができる。	△	◎			○
Topics in Natural Science	選択科目	○	1～4	自然科学の進展による社会への影響、例えば、遺伝学を中心とする生命科学の進展が人間や社会に関する考え方にどのような変化が起こしているのか、などを理解できようになる。	△	◎			○
Topics in Humanities and Arts	選択科目	○	1～4	音楽、演劇、あるいは映画などが歴史や政治的背景、社会とどのようにかかわってきたのか、また、社会への問題提起としての意味をもつのか、などを考えることができるようになる。	△	◎			○
GLAP Special Seminar 1	選択科目	○	2～4	学生にとって有益な知見を提供できる教員により現代的な課題について紹介し、幅広い視点を得ることができるようになる。	△	◎	△		△
GLAP Special Seminar 2	選択科目	○	2～4	学生にとって有益な知見を提供できる教員により現代的な課題について紹介し、幅広い視点を得ることができるようになる。	△	◎	△		○
Career Planning	選択科目	○	1～4	将来のキャリアを意識し、デザインすることをサポートするための素材を提供することにより、キャリアプランについて考えることができるようになる。		◎	○		○
GLAP夏季短期集中プログラム科目									
University Education in the World	選択科目	○	1～4	現代における高等教育の歴史、特にアジアと西洋諸国の教育スタイルや高等教育の動向について学ぶことで、世界の高等教育を理解し、様々な国で学ぶための素養を身につけることができる。		○	◎	△	△
University in Modern Society	選択科目	○	1～4	現在の米国等の高等教育の現状や社会における役割について学び、日本の状況と比較し、議論することで、現在社会における大学の役割や抱える課題を理解することができる。		○	◎	△	△
Career and University Education in the Global World	選択科目	○	3・4	日本をはじめとする国ぐにの大学教育が、グローバル化が進むなか、国内でのキャリアのみならず、海外における仕事や学修とどう結び付いているかを学ぶことで、自身のキャリア設計において大学での学びを適切にいかすことができるようになる。		◎	○		○
海外留学研修									
Study Abroad 1	選択科目	○	2	留学を通して、世界に展開するリベラルアーツ教育を経験する。これにより多様な文化と価値観、相互理解につながるコミュニケーションの重要性を認識し、世界のグローバルな展開に対応するための基礎力を体得する。		○	◎	○	○
Study Abroad 2	選択科目	○	3	留学を通して、世界に展開するリベラルアーツ教育を経験する。これにより多様な文化と価値観、相互理解につながるコミュニケーションの重要性を認識し、世界のグローバルな展開に対応するための基礎力を体得する。またその成果を、自身の専攻分野を軸とした各種の学びに反映できる。		○	◎	○	○
Global Studies Electives									
Global Studies Pre-Seminar	選択科目	○	2	グローバルな問題意識をもって自分で研究課題を設定して、調べ、考える経験を通して、主に2年次後半、3年次以降の専門的な学修に必要とされる複合的視野、思考力、そして問題解決能力等の基礎を身につけることができる。	○	△		△	◎

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目 区分	主要 授業科目	配当 年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
Cross-Fields Research	選択科目	○	2～4	異なる学問分野（Humanities, Citizenship, Business）の視点と研究方法を検討し、各分野の価値を理解する。また、異なる学問分野の視点、方法、考え方を組み合わせることで、現代の複雑な問題を解決するうえでのリベラル・アーツの有効性について認識を深めることができる。	◎	○		○	△
Global Studies Humanities									
Humanities First Seminar	選択科目	○	3・4	Humanitiesの分野の学問的目的、個性、方法を実践的に学び、その学問的意義について説明することができる。また、卒業論文の研究テーマや視角、手法への理解を深めることができる。	◎	○		○	△
Christianity in Japan	選択科目	○	3・4	日本におけるキリスト教の歩みを理解し、現在までのあり方をさまざまな角度から考察する。	△	◎	○		○
Japanese Literature in the World	選択科目	○	3・4	日本文学をその海外での受容をふくむグローバルな視点から捉え直し、理解を深めることによって、多様な学的視点から考察する方法を学ぶ。	△	◎	◎		○
Japan in Asian Context	選択科目	○	3・4	日本をアジアの地域研究の文脈のなかで捉え直し、両者の相互の影響によって培われた歴史、思想、文化の諸相について考察する。	△	◎	○		◎
Rethinking European Literatures	選択科目	○	2～4	ヨーロッパ地域に展開する各種の文学に見いだされる人間理解、世界観について理解を深め、多彩な学的視点から考察する方法を学ぶ。	△	◎	◎		○
Traditional Arts in Japan	選択科目	○	2～4	日本における伝統芸能・美術・文化をグローバルな視点で俯瞰し直し、そのあり方、意味あいをさまざまな角度から考察する。	△	◎	◎		○
Postmodern Turn in Japanese Arts	選択科目	○	2～4	日本の美術・文化の特徴とその展開を、現代の世界の諸事象との関わりから多角的に学び、理解を深める。	△	◎	◎		○
Development of Gender Studies	選択科目	○	2～4	ジェンダー・スタディーズの思想とその展開、問題をグローバルな視点で捉え、社会における新たな認識の可能性を探る。	△	◎	○		◎
Intellectual History of Japan	選択科目	○	3・4	日本において、あるいは日本に関して展開された知の営みを歴史的に学ぶ。また、生きる意味、自然や他者との関係、内面的反省など、知の諸問題について、多角的な理解を深める。	△	◎	○		◎
Seminar in Literature and Culture Studies 1	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Seminar in Literature and Culture Studies 2	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Seminar in Literature and Culture Studies 3	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Seminar in Literature and Culture Studies 4	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Seminar in Literature and Culture Studies 5	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Seminar in Literature and Culture Studies 6	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Global Studies Citizenship									

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目 区分	主要 授業科目	配当 年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
Citizenship First Seminar	選択科目	○	3・4	Citizenship分野の学問的目的、個性、方法を実践的に学び、その学問的意義について説明することができる。また、卒業論文の研究テーマや視角、手法への理解を深めることができる。	◎	○		○	△
Principles of Sociology	選択科目	○	2～4	社会学という学問とはなにかを学び、社会学の基本的な概念・方法、その特徴を理解する独自の思考法を身につけることができる。	○	◎			△
Global Sociology	選択科目	○	3・4	グローバル社会学についての基本的な理論と概念を学び、国境を超えるヒト・モノ・資本・情報の動き、関係、そして葛藤などを批判的に考察する力を身につけることができる。	○	◎			△
Global City	選択科目	○	3・4	グローバル都市の社会的特徴を捉える理論的視点を学ぶことを通して、自分が生きている現代社会のさまざまな問題や矛盾を批判的に考える力を養うことができる。	◎		○		△
Gender/Minority Studies	選択科目	○	3・4	ジェンダー・スタディーズ、マイノリティ・スタディーズの基礎を学び、現代社会の様々な問題をグローバルな視点から深く考える力を身につけることができる。	◎		○		△
International Relations	選択科目	○	2～4	法学と政治学の基礎を学び、国際政治における力関係の変化とその影響について深く考える力を身につけることができる。	◎	△			○
UN and International Organizations	選択科目	○	3・4	グローバル社会学の立場から、国連に代表される機関がいかなる役割を国際社会のなかで果たしているかについて深く知ることで、国際社会で国民国家の枠を超え活躍する力を養うことができる。	◎	○	△		
Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities	選択科目	○	2～4	市民社会という視点に立ち、NGO/NPOの重要性およびその役割を理解し、現代社会における企業が利益追求のほかに追うべき社会的責任について批判的に考える力を養うことができる。	○	◎			△
Area Studies – Africa, Islam and Asia	選択科目	○	3・4	社会科学の観点から、アフリカやイスラム、アジア社会など非西洋社会の特徴を理解し、様々な社会問題や課題について深く考える力を養うことができる。	◎	△	◎		
Sociological Studies A	選択科目	○	3・4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深めることができる。	○	◎	○	△	
Sociological Studies B	選択科目	○	3・4	現代社会における社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深めることができる。	○	◎	○	△	
Sociological Studies C	選択科目	○	3・4	現代社会における社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深めることができる。	○	◎	○	△	
Sociological Studies D	選択科目	○	3・4	現代社会における社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会における考察を深めることができる。	○	◎	○	△	
Lecture and Discussion on Gender C	選択科目	○	3・4	ジェンダー理論を学ぶことで、公私の領域における男女間の不平等や役割分担の固定化について批判的に考える力を養うことができる。	◎	△	○		
Lecture and Discussion on Culture D	選択科目	○	3・4	文化人類学の基礎的理論を学習することで、多様な地域における習慣や儀礼、社会組織のあり方についてグローバルな視点から考える力を養うことができる。	○	△	◎		
Global Studies Business									
Business First Seminar	選択科目	○	3・4	Business分野の学問的目的、個性、方法を実践的に学び、その学問的意義について説明することができる。また、卒業論文の研究テーマや視角、手法への理解を深めることができる。	◎	○		○	△
Business and Society	選択科目	○	2～4	企業と社会とのかかわりを，企業とその事業環境という観点からとらえ，よりよい経営とは何かを提案する力を身につけることができる。	○	◎			△

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目 区分	主要 授業科目	配当 年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
Introduction to Finance	選択科目	○	2～4	ファイナンスの基礎を学び、企業経営における役割と意義を理解する。	○	◎			△
Introduction to Accounting	選択科目	○	2～4	会計学全体の体系を理解したうえで，特に簿記ならびに財務諸表の基本的な仕組みをしっかりとマスターすることができる。	○	◎			△
Introduction to Marketing	選択科目	○	2～4	マーケティングの基礎知識・基本理念と使用方法を理解し，企業経営における販売活動を分析する能力を習得することができる。	○	◎			△
Corporate Finance and Valuation	選択科目	○	3・4	基本的なコーポレート・ファイナンス及び企業価値評価の理論を学ぶ。	◎	○			○
Financial Statement Analysis	選択科目	○	3・4	企業の財務業績や財政状態を評価すべく，財務諸表を理解して分析する能力を養う。	◎	○			○
Marketing Research	選択科目	○	3・4	商品やサービスのマーケティングに関するリサーチや関連データ収取と分析などのスキルを学ぶ。	◎	○			○
Advanced Business Project	選択科目	○	3・4	ビジネス企画を立案したり英語でプレゼンテーションするための、高度なリサーチ力やビジネス知識の応用力を習得できる。	◎	△	△	○	◎
Business Project	選択科目	○	3・4	英語でビジネス提案をできるスキルを、実践を通して身につける。	◎	△		○	◎
Business Communication	選択科目	○	3・4	ビジネスの場面で用いられる種々のコミュニケーションスキルを身につける。.	△	○	△	◎	
Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market	選択科目	○	3・4	ケーススタディやグループプロジェクトを通じて、日本のマーケットについて理解する。	○	◎			○
Intercultural Business Management	選択科目	○	3・4	多国籍であることや多様性がビジネスにもたらす影響を理解し、企業経営への活用を理解する。	△	◎	○		○
Global Innovation Management	選択科目	○	3・4	.ビジネスにおけるアドバンテージを得るための技術革新戦略について理解する。	○	◎			△
International Human Resource Management	選択科目	○	3・4	グローバルな職場環境でのマネージメントの方法についての理解を深め、その活用を身につける。	○	◎			△
Global Strategic Management	選択科目	○	3・4	グローバルな環境での、ビジネスのあり方、経営管理などを理解する。	○	◎			△
Marketing Positioning Strategy	選択科目	○	3・4	グローバルなビジネスにおけるマーケティングの方法を学び、海外へ進出する企業戦略について説明できる。	○	◎			△

カリキュラム・マップ（9月入学者）

グローバル・リベラルアーツ・プログラム

GLAPの教育目的

『自ら考え、行動し、世界と共に生きる「グローバル・リーダー」』を育成すること。
「グローバル・リーダー」とは、どのような立場や環境にあっても自身の持つ力を最大限に発揮しながら周囲と協働することができ、かつ豊かな感受性と知性を有し、他者を尊重し寄り添う中で、世界の新たなあり方を見据え、自ら考える能力と人間性を備えた人材のことである。

学修成果 （具体的に記述・箇条書き）

「学士（学術）」を授与される学生は、以下のような能力を有する。
1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。（「1. リベラルアーツの素養」、「3. 自己を理解し発展させる力」と関連）
2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。（「2. 専門性」、「3. 自己を理解し発展させる力」と関連）
3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。（「5. 他者を理解する姿勢」、「7. リーダーシップ」、「8. 国際性」と関連）
4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。（「6. 表現力」と関連）
5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。（「1. リベラルアーツの素養」、「3. 自己を理解し発展させる力」と関連）

※（ ）内は「立教大学学士課程教育の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連（◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目区分	主要授業科目	配当年次	科目の学修成果（この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
必修科目									
Tutorial（学びの技法）									
Tutorial 1	必修科目	○	1	テキストの講読、プレゼンテーション、学生同士の討論、授業期間中に複数回提出が求められる課題エッセーの執筆等を通じて、批判的な読解力や分析的な思考力を涵養する。	◎	△		◎	△
Tutorial 2	必修科目	○	1	テキストの講読、プレゼンテーション、学生同士の討論、授業期間中に複数回提出が求められる課題エッセーの執筆等を通じて、批判的な読解力や分析的な思考力をさらに発展させる。	◎	△		◎	△
学びの精神									
Liberal Arts in Higher Education	必修科目	○	1	高等教育の中でリベラルアーツがどのように位置づけられてきたのかを学ぶことで、自身が学ぶリベラルアーツについて理解を深め、その特徴を理解することができる。	◎	△			△
GLP基礎科目									
GL111	必修科目	○	1	少人数のグループに分かれてのディスカッションや課題への取組を通じ、チームが成果を出すために必要なかかわり方や、リーダーシップの発揮方法を身につけることができる。	△		◎	△	
GL202	必修科目	○	1	少人数のグループに分かれてのアクション・ラーニングやコーチングによって簡単かつシンプルな質問力を身につけ、リーダーシップを発揮することができる。	△		◎	△	○
Second Year Seminar									
Second Year Seminar	必修科目	○	2	課題研究に取り組むなかで、Tutorial科目（学びの技法）で培った学びの技術力をさらに伸ばし、思考力を高めることができる。	◎	△		◎	△
Global Studies Essentials									

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目 区分	主要 授業科目	配当 年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
Globalism and Humanities	必修科目	○	2	宗教・思想、言語、芸術・文化、文化人類学、ジェンダー、地域研究について概念的・理論的基礎や資料の収集や利用法を身につけることができる。	△	◎	△		○
Citizenship Education	必修科目	○	2	社会科学（社会学、政治学、人類学など）の主要な分野と理論をグローバルな視点から学ぶことによって 、 現代の社会問題や政治問題を、批判的かつ責任ある市民として理解することができる。	△	◎	△		○
International Business	必修科目	○	2	ビジネスの国際展開について、具体的な事例と理論的な枠組みを広く理解し、多様な視点を身につけることができる。	△	◎	△		○
選択科目									
英語リベラルアーツ（ELA）科目									
World History	選択科目	○	1～4	グローバルな文脈で見た世界の歴史において、いくつかのトピックを掘り下げて深く学ぶことで、歴史についての多様な視点や思考力を身につけることができる。	△	◎	△		○
Culture and Fine Arts	選択科目	○	1～4	人間が持つ文化の本質的部分としての芸術に関して、いくつかの課題を設定し、検討することで、文化や芸術に対する多様な視点や思考力を身につけることができる。	△	◎	△		○
Political Sociology	選択科目	○	1～4	社会学における国家、社会、市民に関するいくつかの課題に焦点を当てて学ぶことで、政治社会学についての理解を深めることができる。	△	◎	△		○
Nature of the Earth	選択科目	○	1～4	自然科学における地球の科学的調査から導き出される課題について学ぶことで、自然科学についての理解と、多角的な視点を身につけることができる。	△	◎	△		○
Literature and Society	選択科目	○	1～4	様々な文学作品と、その社会的背景に焦点を当てて学ぶことで、文学作品と社会の関係を多角的に考察できるようになる。	△	◎	△		○
Economic Thought	選択科目	○	1～4	思想家、学者、一般市民が経済や経済問題をどのように考えてきたか、また、考えているか、思想的観点から経済を考察することで、経済に関する多様な考え方を身につけることができる。	△	◎	△		○
Health and Wellness	選択科目	○	1～4	2つの健康、人間としての健康と人生における健康について、授業にて紹介される課題について学ぶことで、健康を様々な観点から考える能力を身につけることができる。	△	◎	△		○
Topics in Environment	選択科目	○	1～4	地球科学の基礎や化学物質が環境に与える影響などを学ぶことにより環境問題の背景を理解し、環境と生態系、現代の社会、経済との関係について幅広く考えることができる。	△	◎			○
Topics in Natural Science	選択科目	○	1～4	進展を続ける自然科学による社会への影響、例えば、遺伝学を中心とする生命科学の進展が人間や社会に関する考え方にどのような変化を起こしているのか、などを理解できるようになる。	△	◎			○
Topics in Humanities and Arts	選択科目	○	1～4	音楽、演劇、あるいは映画などが歴史や政治的背景、社会とどのようにかかわってきたのか、また、社会への問題提起としての意味をもつのか、などを考えることができるようになる。	△	◎			○
GLAP Special Seminar 1	選択科目	○	2～4	学生にとって有益な知見を提供できる教員により現代的な課題について紹介し、幅広い視点を得ることができるようになる。	△	◎	△		△

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目 区分	主要 授業科目	配当 年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
GLAP Special Seminar 2	選択科目	○	2～4	学生にとって有益な知見を提供できる教員により現代的な課題について紹介し、幅広い視点を得ることができるようになる。	△	◎	△		○
Career Planning	選択科目	○	1～4	将来のキャリアを意識し、デザインすることをサポートするための素材を提供することにより、キャリアプランについて考えることができるようになる。		◎	○		○
GLAP夏季短期集中プログラム科目									
University Education in the World	選択科目	○	1～4	現代における高等教育の歴史、特にアジアと西洋諸国の教育スタイルや高等教育の動向について学ぶことで、世界の高等教育を理解し、様々な国で学ぶための素養を身につけることができる。		○	◎	△	△
University in Modern Society	選択科目	○	1～4	現在の米国等の高等教育の現状や社会における役割について学び、日本の状況と比較し、議論することで、現在社会における大学の役割や抱える課題を理解することができる。		○	◎	△	△
海外留学研修									
Study Abroad 1	選択科目	○	3	留学を通して、世界に展開するリベラルアーツ教育を経験する。これにより多様な文化と価値観、相互理解につながるコミュニケーションの重要性を認識し、世界のグローバルな展開に対応するための基礎力を体得する。		○	◎	○	○
Global Studies Electives									
Global Studies Pre-Seminar	選択科目	○	2	グローバルな問題意識をもって自分で研究課題を設定して、調べ、考える経験を通して、主に2年次後半、3年次以降の専門的な学修に必要とされる複合的視野、思考力、そして問題解決能力等の基礎を身につけることができる。	○	△		△	◎
Cross-Fields Research	選択科目	○	2～4	異なる学問分野（Humanities, Citizenship, Business）の視点と研究方法を検討し、各分野の価値を理解する。また、異なる学問分野の視点、方法、考え方を組み合わせることで、現代の複雑な問題を解決するうえでのリベラル・アーツの有効性について認識を深めることができる。	◎	○		○	△
Global Studies Humanities									
Humanities First Seminar	選択科目	○	3・4	Humanitiesの分野の学問的目的、個性、方法を実践的に学び、その学問的意義について説明することができる。また、卒業論文の研究テーマや視角、手法への理解を深めることができる。	◎	○		○	△
Christianity in Japan	選択科目	○	3・4	日本におけるキリスト教の歩みを理解し、現在までのあり方をさまざまな角度から考察する。	△	◎	○		○
Japanese Literature in the World	選択科目	○	3・4	日本文学をその海外での受容をふくむグローバルな視点から捉え直し、理解を深めることによって、多様な学的視点から考察する方法を学ぶ。	△	◎	◎		○
Japan in Asian Context	選択科目	○	3・4	日本をアジアの地域研究の文脈のなかで捉え直し、両者の相互の影響によって培われた歴史、思想、文化の諸相について考察する。	△	◎	○		◎
Rethinking European Literatures	選択科目	○	2～4	ヨーロッパ地域に展開する各種の文学に見いだされる人間理解、世界観について理解を深め、多彩な学的視点から考察する方法を学ぶ。	△	◎	◎		○
Traditional Arts in Japan	選択科目	○	2～4	日本における伝統芸能・美術・文化をグローバルな視点で俯瞰し直し、そのあり方、意味あいをさまざまな角度から考察する。	△	◎	◎		○

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目 区分	主要 授業科目	配当 年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
Postmodern Turn in Japanese Arts	選択科目	○	2～4	日本の美術・文化の特徴とその展開を、現代の世界の諸事象との関わりから多角的に学び、理解を深める。	△	◎	◎		○
Development of Gender Studies	選択科目	○	2～4	ジェンダー・スタディーズの思想とその展開、問題をグローバルな視点で捉え、社会における新たな認識の可能性を探る。	△	◎	○		◎
Intellectual History of Japan	選択科目	○	2～4	日本において、あるいは日本に関して展開された知の営みを歴史的に学ぶ。また、生きる意味、自然や他者との関係、内面的反省など、知の諸問題について、多角的な理解を深める。	△	◎	○		◎
Seminar in Literature and Culture Studies 1	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Seminar in Literature and Culture Studies 2	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Seminar in Literature and Culture Studies 3	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Seminar in Literature and Culture Studies 4	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Seminar in Literature and Culture Studies 5	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Seminar in Literature and Culture Studies 6	選択科目	○	3・4	文学、文化の様々なトピックについて、演習形式の授業を通じて多様な方法・視点から理解を深める。	◎	○	△	◎	
Global Studies Citizenship									
Citizenship First Seminar	選択科目	○	3・4	Citizenship分野の学問的目的、個性、方法を実践的に学び、その学問的意義について説明することができる。また、卒業論文の研究テーマや視角、手法への理解を深めることができる。	◎	○		○	△
Principles of Sociology	選択科目	○	2～4	社会学という学問とはなにかを学び、社会学の基本的な概念・方法、その特徴を理解する独自の思考法を身につけることができる。	○	◎			△
Global Sociology	選択科目	○	3・4	グローバル社会学についての基本的な理論と概念を学び、国境を超えるヒト・モノ・資本・情報の動き、関係、そして葛藤などを批判的に考察する力を身につけることができる。	○	◎			△
Global City	選択科目	○	2～4	グローバル都市の社会的特徴を捉える理論的視点を学ぶことを通して、自分が生きている現代社会のさまざまな問題や矛盾を批判的に考える力を養うことができる。	◎		○		△
Gender/Minority Studies	選択科目	○	3・4	ジェンダー・スタディーズ、マイノリティ・スタディーズの基礎を学び、現代社会の様々な問題をグローバルな視点から深く考える力を身につけることができる。	◎		○		△
International Relations	選択科目	○	2～4	法学と政治学の基礎を学び、国際政治における力関係の変化とその影響について深く考える力を身につけることができる。	◎	△			○
UN and International Organizations	選択科目	○	3・4	グローバル社会学の立場から、国連に代表される機関がいかなる役割を国際社会のなかで果たしているかについて深く知ることで、国際社会で国民国家の枠を超え活躍する力を養うことができる。	◎	○	△		

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目 区分	主要 授業科目	配当 年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities	選択科目	○	2～4	市民社会という視点に立ち、NGO/NPOの重要性およびその役割を理解し、現代社会における企業が利益追求のほかに追うべき社会的責任について批判的に考える力を養うことができる。	○	◎			△
Area Studies – Africa, Islam and Asia	選択科目	○	3・4	社会科学の観点から、アフリカやイスラム、アジア社会など非西洋社会の特徴を理解し、様々な社会問題や課題について深く考える力を養うことができる。	◎	△	◎		
Sociological Studies A	選択科目	○	3・4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深めることができる。	○	◎	○	△	
Sociological Studies B	選択科目	○	3・4	現代社会における社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深めることができる。	○	◎	○	△	
Sociological Studies C	選択科目	○	3・4	現代社会における社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深めることができる。	○	◎	○	△	
Sociological Studies D	選択科目	○	3・4	現代社会における社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会における考察を深めることができる。	○	◎	○	△	
Lecture and Discussion on Gender C	選択科目	○	3・4	ジェンダー理論を学ぶことで、公私の領域における男女間の不平等や役割分担の固定化について批判的に考える力を養うことができる。	◎	△	○		
Lecture and Discussion on Culture D	選択科目	○	3・4	文化人類学の基礎的理論を学習することで、多様な地域における習慣や儀礼、社会組織のあり方についてグローバルな視点から考える力を養うことができる。	○	△	◎		
Global Studies Business									
Business First Seminar	選択科目	○	3・4	Business分野の学問的目的、個性、方法を実践的に学び、その学問的意義について説明することができる。また、卒業論文の研究テーマや視角、手法への理解を深めることができる。	◎	○		○	△
Business and Society	選択科目	○	2～4	企業と社会とのかかわりを，企業とその事業環境という観点からとらえ，よりよい経営とは何かを提案する力を身につけることができる。	○	◎			△
Introduction to Finance	選択科目	○	2～4	ファイナンスの基礎を学び、企業経営における役割と意義を理解する。	○	◎			△
Introduction to Accounting	選択科目	○	2～4	会計学全体の体系を理解したうえで，特に簿記ならびに財務諸表の基本的な仕組みをしっかりとマスターすることができる。	○	◎			△
Introduction to Marketing	選択科目	○	2～4	マーケティングの基礎知識・基本理念と使用方法を理解し，企業経営における販売活動を分析する能力を習得することができる。	○	◎			△
Corporate Finance and Valuation	選択科目	○	3・4	基本的なコーポレート・ファイナンス及び企業価値評価の理論を学ぶ。	◎	○			○
Financial Statement Analysis	選択科目	○	3・4	企業の財務業績や財政状態を評価すべく，財務諸表を理解して分析する能力を養う。	◎	○			○
Marketing Research	選択科目	○	3・4	商品やサービスのマーケティングに関するリサーチや関連データ収取と分析などのスキルを学ぶ。	◎	○			○
Advanced Business Project	選択科目	○	3・4	ビジネス企画を立案したり英語でプレゼンテーションするための、高度なリサーチ力やビジネス知識の応用力を習得できる。	◎	△	△	○	◎

GLAPのカリキュラム					GLAPの学修成果との関連 （◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）				
科目名	科目 区分	主要 授業科目	配当 年次	科目の学修成果 （この科目の学修後に得られる学修成果を、学生を主語にして、行為動詞を使用して記入）	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
Business Project	選択科目	○	3・4	英語でビジネス提案をできるスキルを、実践を通して身につける。	◎	△		○	◎
Business Communication	選択科目	○	3・4	ビジネスの場面で用いられる種々のコミュニケーションスキルを身につける。.	△	○	△	◎	
Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market	選択科目	○	3・4	ケーススタディやグループプロジェクトを通じて、日本のマーケットについて理解する。	○	◎			○
Intercultural Business Management	選択科目	○	3・4	多国籍であることや多様性がビジネスにもたらす影響を理解し、企業経営への活用を理解する。	△	◎	○		○
Global Innovation Management	選択科目	○	3・4	.ビジネスにおけるアドバンテージを得るための技術革新戦略について理解する。	○	◎			△
International Human Resource Management	選択科目	○	3・4	グローバルな職場環境でのマネージメントの方法についての理解を深め、その活用を身につける。	○	◎			△
Global Strategic Management	選択科目	○	3・4	グローバルな環境での、ビジネスのあり方、経営管理などを理解する。	○	◎			△
Marketing Positioning Strategy	選択科目	○	3・4	グローバルなビジネスにおけるマーケティングの方法を学び、海外へ進出する企業戦略について説明できる。	○	◎			△